

第5回 糸魚川市駅北復興まちづくり市民会議 次第

平成30年12月18日（火）13:30～
糸魚川商工会議所 2階 会議室

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議事

（1）市と商工会議所が考えるまちづくりについて

資料No. 1、資料No. 2

（2）意見交換

（3）本日のワークについて説明

（4）アドバイザーからポイントアドバイス

（5）具体的な取組の検討（提案書作成）

資料No. 3

（6）中間発表

4. その他

（1）次回の会議について

- ・第6回1月25日（金）13:30からを予定
糸魚川商工会議所2階会議室

5. 閉会

復興まちづくり市民会議における検討状況

■第1回(7/27): 会議の設置、これまでの検討状況の振り返り、アドバイザーからの講演

■第2回(8/31): ワークショップ形式により、にぎわいのイメージを共有し定義化

にぎわいの定義

- ・市内から市外から、目的を持って街に人が集う
- ・糸魚川に魅力を感じた人たちが、たくさん訪れている
- ・駅に降り立った人たちが、街中を回遊している
- ・住民同士の結びつきが強く、たとえ一人でいても寂しくない
- ・街の環境整備が行われ、利用されている



■第3回(10/4): にぎわいの定義を基に、駅北地域の役割や具体的な取組について3つのテーマに集約

暮らしのシェア

○ターゲット

- ・子育て世代、働いている世代、学生、U・Iターン移住者

○具体的な姿

- ・仕事のシェア
- ・子育てのシェア
- ・空間(居住、お店)のシェア

お金の稼げる 駅北

○ターゲット

- ・市外の人、学生

○具体的な姿

- ・人が来る必然性(図書館等の市の出張機関)
- ・街中で人々の会話が增える
- ・御風さん、ヒスイ、ジオパーク、食などの糸魚川の魅力を発信
- ・学生が集まって勉強したり、話をしたり出来るスペース

子ども連れでも 楽しめる駅北

○ターゲット

- ・子ども

○具体的な姿

- (子ども)
- ・学校帰りのたまり場、体をつかって遊んでいる、食べ歩きや駄菓子屋で楽しんでいる(家族)
- ・家族でお茶タイム(おやつ付)、子どもがワイワイできる喫茶店
- ・おじいちゃん、おばあちゃんとこどもと一緒に街を歩いている

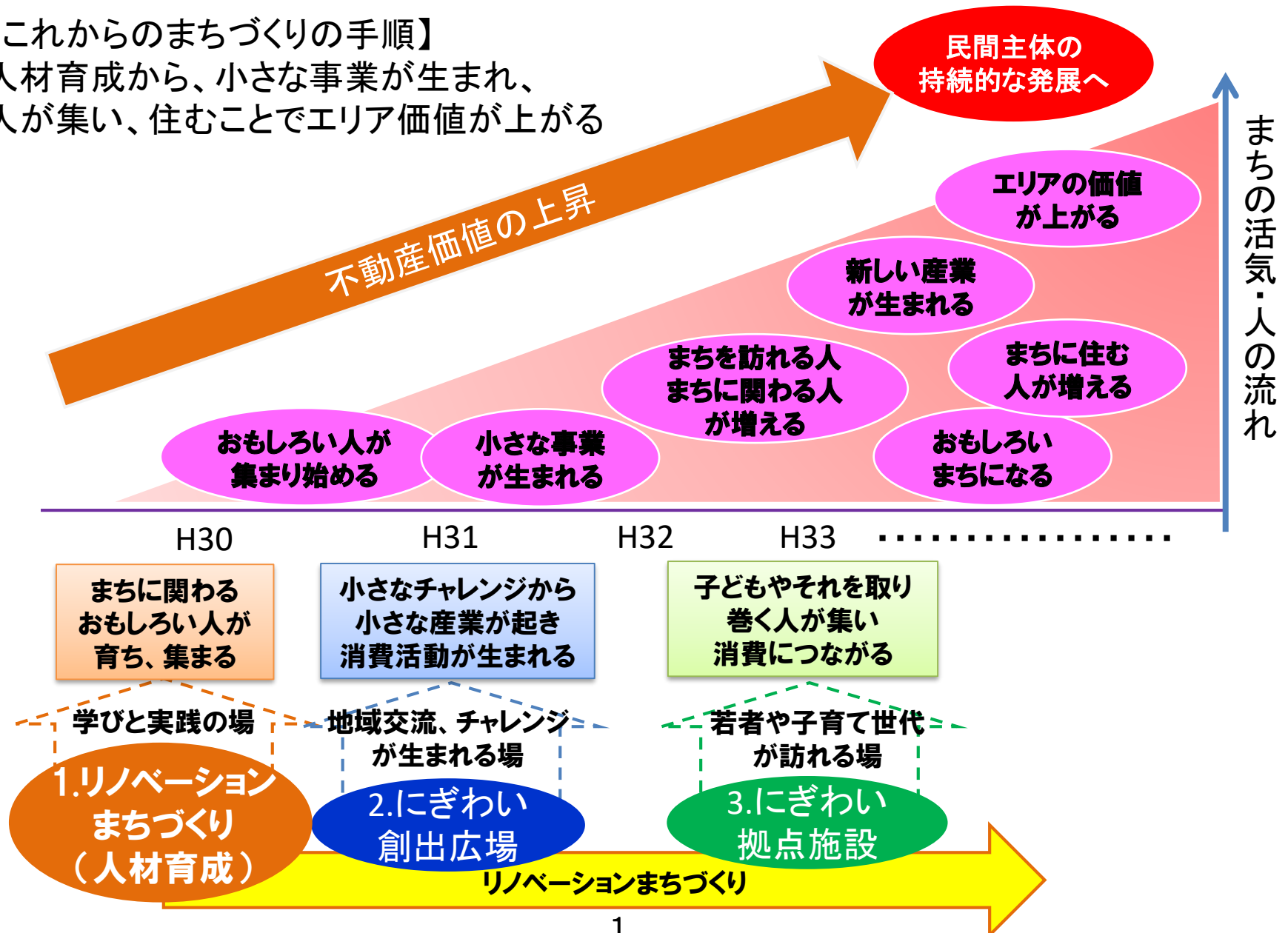
■第4回(11/6): 第3回目までの検討状況について市長、糸魚川商工会議所会頭と意見交換

※今後はにぎわいの拠点施設を含む具体的な取組について、さらに検討を進め、これからの駅北のにぎわいづくりについて提案をいただきます。

にぎわいづくりの展開について（案）

【これからのまちづくりの手順】

人材育成から、小さな事業が生まれ、
人が集い、住むことでエリア価値が上がる



(公共的機能による集客を周辺での活動や消費に波及)



1. リノベーションまちづくりによるエリア再生について (案)

(持続可能なまちづくりを担う人材の育成に向けて)

課題

- ・中心市街地における空き家、空き店舗の増加(駅北大火以前の課題が浮き彫り)
- ・駅北地区におけるにぎわい活動の低迷(活動を担う人材の不足)
- ・復興する被災地(新しい)と周辺地域(既存)の調和と連携

方針

- ・既存物件や大火復興で生まれた公共空間等、地域ならではの資源を利用した活動を創出
- ・活動の連鎖的つながりによる面的な地域価値の向上

学び

- ・リノベーションまちづくりシンポジウムによる機運の醸成
- ・リノベーションスクールによる事業化に向けた知識の習得



実践

- ・空き家空き店舗を活用した新規事業者の増加
- ・まちづくりの担い手と訪問者の増加
- ・まちに活気が生まれ、エリア全体の価値が向上



20年近く空いていた物件をリノベーションした共場 commons【白馬通り】



空き店舗(旧パチンコ店)をカフェに改修【静岡県熱海市内】

プレイヤーが集まり、生まれる

2. にぎわい創出広場の整備について（案）

（多様な活動を通じて市民が憩い集まる場の創出に向けて）

課題

- ・大火前からの中心市街地における消費活動の低下（人口減少、郊外化、インターネットの普及）
- ・中心市街地における滞在者の減少（駅北大火により居住者、事業者の一部が郊外へ転出）

方針

- ・滞在者をまちに呼び込み、周囲の消費活動に展開
- ・「地域交流」「チャレンジ」「防災意識啓発」を柱とした集いの場を創出

地域交流

- ・市民や地区の活動を支援する相談機能
- ・まちづくりを担う人と人、団体をつなぐ地域のハブ機能



チャレンジ

- ・若者や女性の「やりたいこと」の実現の場
- ・商店街での起業、創業につなげるチャレンジの場



防災意識啓発

- ・大火の記録と伝承
- ・防災教育プログラムの展開
- ・大火を切り口とした市の情報発信



まちと“関わる”キッカケの場

3. にぎわい拠点施設【子育て支援分野】の整備について（案）

（30年先の糸魚川市を担う子どもたちの健やかな育成に向けて）

- 課題**
- ・若者や子育て世代の来街機会の減少（市街地の活力低下の一因）
 - ・子ども一貫教育方針による切れ目のない子育て支援環境のさらなる充実

- 方針**
- ・若者や子育て世代が目的をもって街に訪れる機会を創出
 - ・妊娠・出産から子育て時期をトータルサポートする子育てワンストップ窓口を整備

安心

- 育児の相談
- 子育てのサポート
- 子どもの居場所



子育ての支援センター
一時預かり（保育室）
育児援助（ファミリーサポート）
手続きのワンストップ窓口

学習

- 学習環境の提供
- 中高生の居場所



学習室
図書スペース

遊びの場

- 悪天、冬期における外出機会の創出
- 親子ふれあいの場



屋内遊戯施設
絵本スペース
児童館スペース

交流

- 子ども同士、保護者同士の交流促進
- 講座、イベント開催による多世代交流



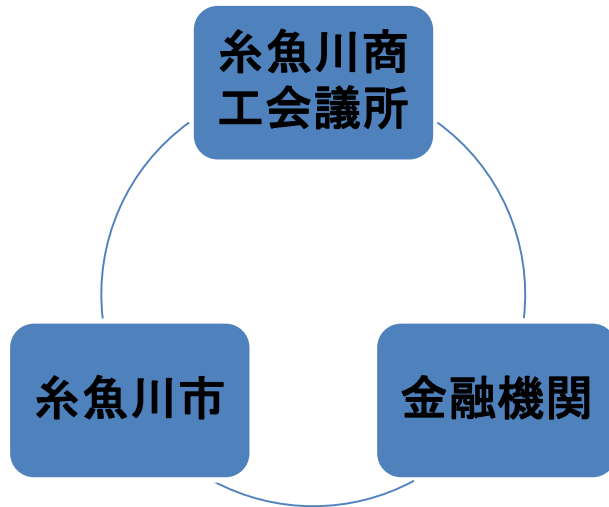
グループ活動室
フリースペース

まちを“訪れる”キッカケの場

(案)

会議所会館の機能・目的～街なかを産業振興の中心地に～糸魚川商工会議所

【糸魚川産業活性化センター】



各セクションが強みを持ち寄り
総合的に糸魚川経済の活性化に取り組む

目的

街なかへの集客効果－ハブ機能で様々な人が来街

知見・経験・事業の集約・つなぎ役－能力・機能・窓口一元化

子育て支援施設連携：次世代産業人財育成、二次就業支援

高齢化率が高い地域での人材掘り起こし

産業振興支援機能

糸魚川産業創造プラットフォーム
【各産業企業が連携するためのハブ】

- ・価値創造
- ・課題解決

中心市街地活性化支援機能

中心市街地活性化中間支援組織
【様々な市街地活性化活動のハブ】

- ・商店街事務局
- ・市民・企業街なか活動支援

～糸魚川市内中小企業が全国へ展開し、働き手が誇れる街を目指して～

- 課題**
- ・糸魚川市を支えている中小企業が人材不足や高齢化等により縮小、廃業が危惧される
 - ・中小企業や創業の課題は多種多様であり、産官学金一体の総合的な支援が求められている

- 方針**
- ・ITによる生産性向上、人材育成、企業OB活躍の場等人材不足対策
 - ・創業、中小企業課題解決に対応するワンストップ窓口
- 産業活性化センター**

雇 用

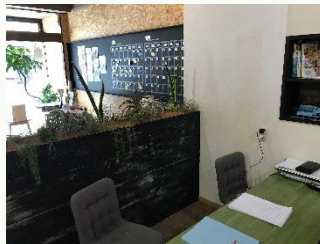
- 個社磨き
- 新規雇用の開拓
- 女性・企業OB活躍の場



人材育成プログラム（子育て・介護離職者育成、生産性向上）
ものづくり体験ファクトリー
住み方・過ごし方・働き方発信

マーケット

- 企業・製品情報発信
- 市場開拓
- 創業者支援



コト・モノ・ワザデータ
ベース
創業支援窓口
コワーキングスペース

ブランディング

- 製品・技術開発
- 産官学金連携
- 企業の魅力創出



産官学金による総合支援
企業ブランディング支援窓口

まちでビジネスが広がる

中間報告での質問・意見等まとめ

チーム	質問・意見
暮らしのシェア	「地に足のついた本物のにぎわい」という視点での探究、良いと思いました。
	「シェアすることのできる」との洗い出しや深掘りをやってみたいです。
	「なりわいのシェア」を具体的にはどんな仕事をシェアできるか考えてみたいです。
	「まず民間でやる」こと、「もう動き出さないといけない時期」ということ、どちらもその通りだと思いました。
	「シェア」を始めるための仕掛け、取組みが、公共のサポート以外にも必要では？特に参加する人はどうやって募ればよい？
	「シェア」することで、大家さんの収入減が起きることもありますが、それを上回るメリットがあることを伝えられるようになっていきたいです。
	「シェア」することへの心理的な抵抗感（「子育ては、人に任せて大丈夫？」などの気持ち）を減らす工夫が必要だと思っています。
	「シェア」の手法について、私たちの考え方を鍛えてくれるようなアドバイザーの皆様の存在が引き続き必要だと思いました。
	同じフロア、人材のシェア、自分の力でやっていく、仲間意識、仲間づくり
	何をシェアする→物だけではない、知恵、情報、何でも出来そうでおもしろそう！
お金稼げる駅北	お金稼ぎたいです！でもまずは自力で（加入団体で）やっていく必要があると思います。
	なぜ駅北に来ると良いのか、駅北でなければならない理由も仕組みづくり必要なのかなと感じました。（何で稼げるのは駅北なのか）
	駅北だからこそ、駅北エリアでなくてはならない理由をもっと詳しく聞きたい。
	魅力発信の場として駅北を活用するとともに、市民一人一人が魅力の発信者として動いていくことが大切だと思いました。（穴場スポットやお得な情報など）
キッズファースト	緑町区に子育て世代を呼びこみたいです！
	子育て世代のニーズを具現化するために必要なものは？
	糸魚川ならではのキッズファーストとは？点在する緑地（予定地）をどう活用する？
	子供の頃の楽しい体験は記憶に残る。（大切！）
	教育サービスとして遊ばせる→稼ぐにつながるかも？
	街を編集する→どんどん見せる！（リアルな街、ワクワクする街）、お金を稼げる事を見せつける！
	子どもをターゲットにするということで、徹底した子ども目線でいきたいですね。「楽しい」と思ってもらう仕掛けを丁寧につくりたいです。
	今はなぜ子ども同士で駅前でたまっていないのか？反対に子どもたちはどこに行っているのか調査したい。
	子どもを連れてくる大人が外出しやすくなる仕掛けが必要だと思いました。（家事代行など）
	空間や場所の使い方で、子どもが集まってくれるイメージがついた。
	子供が大人になったとき、働く場、住む場にもわくわくや希望があれば良いなと感じました。長い目でみた住みやすさにも、つながる気がしました。
	子どもが駅北に集まる中で、糸魚川市に魅力を感じ、地元愛を育めるような方向に持っていけたらいいですね。
	子どもの集う場が創出されることで、そこに大人や高齢者も集うようになり、結果として見守りや防犯、高齢者が外に出るきっかけにもつながるのではないかと思います。

わたしの宣言(市民会議に参加して)

○感想と宣言

★市民会議に参加して・・・

1. 良かったところ

2. 残念だったところ

★わたしは今後このまちとどうやって関わって行くか